

「社会人学び直し」支援を実現するための大学教員準備研修 オンライン教材の開発

Development of an Online Educational Course for a Future Faculty Program
Designed for Implementation of Supporting Working Adults Re-learning

中寫 康二・小林 雄志・藤島 真美・平岡 斉士・喜多 敏博・鈴木 克明

Koji NAKAJIMA, Yuji KOBAYASHI, Mami FUJISHIMA, Naoshi HIRAOKA, Toshihiro KITA,
Katsuaki SUZUKI

熊本大学大学院教授システム学専攻

Graduate School of Instructional Systems, Kumamoto University

〈あらまし〉本研究では、「社会人学び直し」支援を実践できる大学教員の養成を実現することを主旨として、大学教員準備研修のためのオンライン教材の設計と開発を行った。この教材は、「社会人学び直し」において考えられる時間的・物理的制約のみならず、多様な学習者にも対応しうる学習支援方法や評価方法などに関して学ぶ機会を大学教員に提供することを企図しており、この教材で学ぶ授業設計の手法が通常の対面授業の実施にも活かせることが想定されている。本稿では、その設計と開発について報告する。

〈キーワード〉 インストラクショナルデザイン・大学教員準備研修・オンライン学習コンテンツ・社会人学び直し・LMS

1. はじめに

「社会人の学び直し」機能の強化の必要性が提言されている（教育再生実行会議，2013）。このためには、高等教育がその一端を担うための、社会人学習者受け入れ環境の整備が必要となる。例えば、短期プログラムや、オンライン学習を活用した教育プログラムの開発などが必要となるであろう。他方、大学教員の準備研修が各大学で実施されているが、ここでは授業の準備や実施に焦点が当てられており、授業設計については、取り扱われていないことが多く、インストラクショナルデザイン（ID）を研修に導入することが提案されている（平岡ほか，2014）。これらのことから、大学教員準備研修教材の開発において、IDと同時に、「社会人学び直し」を支援できる能力の涵養という観点を取り入れることは意義があるものと考えられる。

2. 教材の設計と開発

開発する教材は、学習内容ごとに区切ったモジュールベースのオンライン学習教材であり、大学教員準備研修のための教材として「授業設計」に特に焦点化して学ぶ内容となる。また、実習授業の準備・実施もこのプログラムの中で行い、全編

で120時間程度の学習を要する教材となる。教材コンテンツはLMS（Moodle）上に掲載し、受講者はオンラインで学習を進める。また、モジュール単位で実施するリフレクション作業はeポートフォリオ（Mahara）で行う。

「授業設計」について学ぶモジュール群については必要な箇所以外は系列化しない。プログラムの最初に、受講者は自分が学ぶ必要のあるモジュールを見定める機会が設けられ、この教育プログラムにおける自身の学習計画を自分で作成する。ここでは、受講者は、「社会人学び直し」が支援できる授業設計のためのチェックリストを利用する機会を得る。チェックの結果、例えば、「基礎からではなく応用問題から取り組ませる設計になっているか」という項目について、その時点でまだ理解できていないという場合、これに関連するモジュールが学習計画に入れられ、自分の「必要性に応じた」学習計画表を作成することになる（図1）。

3. おわりに

本稿では、社会人学び直しを支援する教育専門家の養成のための、大学教員準備研修教材の設計・開発について報告した。今後は、教材を試行

運用し、「社会人の学び直し」を支援できることが通常の対面授業においても活きることを検証して説明したい。また、モジュールベースとすることから、モジュール単位で修了証明できる仕組み（デジタルバッジ（中嶋ほか，2015））と連係させて設計を進めたい。

謝辞

本研究は、「特別経費（プロジェクト分）大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実採択プロジェクト（7714S012628，代表：鈴木克明）の助成を受けて行っている。

参考文献

教育再生実行会議（2013）「これからの大学教育の在り方について」第3次提言
 平岡 斉士ほか（2014）「ID教育の観点からの日本のプレFDの課題と改善案」日本教育工学会 第30回全国大会発表論文集,621-622.
 中嶋ほか（2015）「米国におけるオンラインコース向けデジタルバッジに関する事例調査と国内での活用の検討」教育システム情報学会 第1回研究会，51-56.

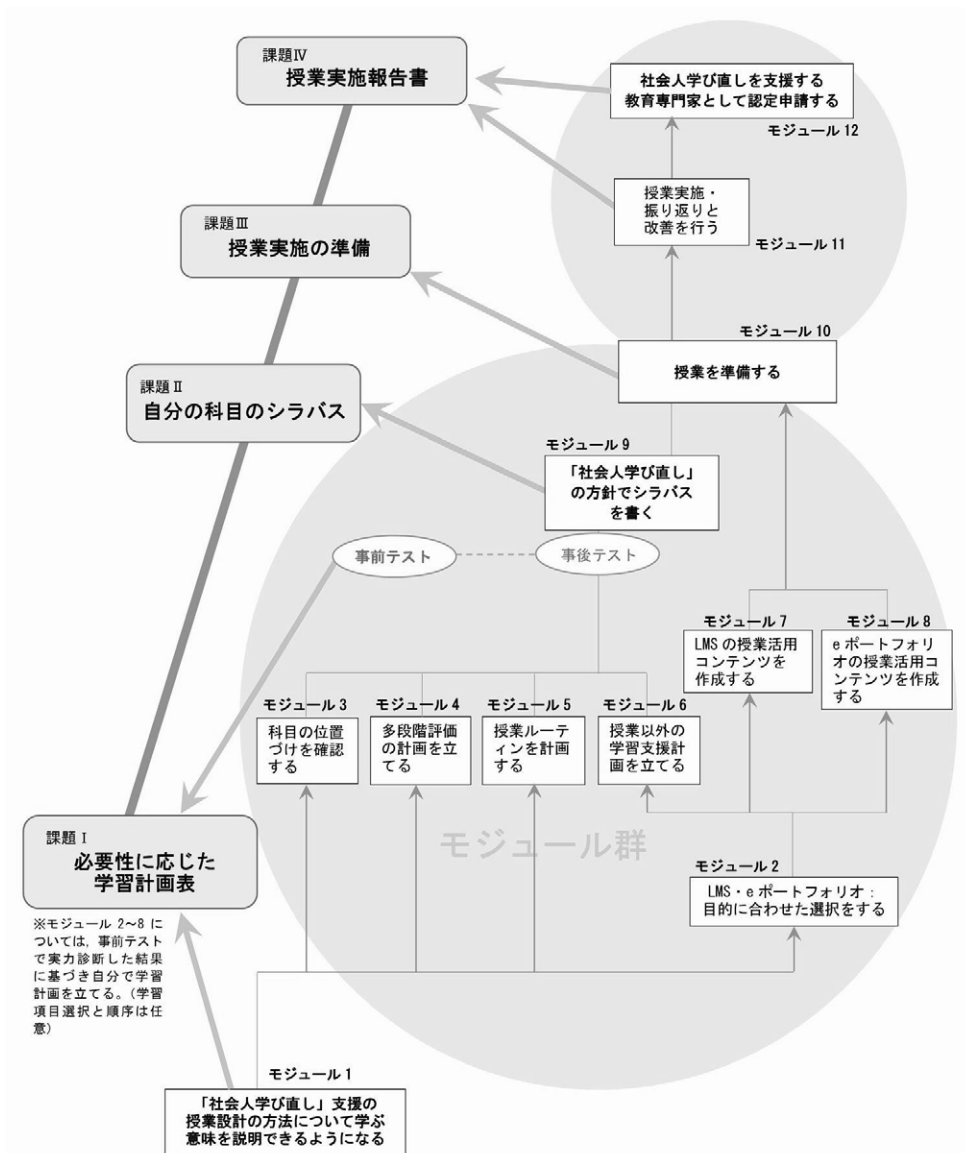


図1. 教材構成イメージ